



今年も残り一ヵ月となりました。 コロナ禍とまでいわれた感染症も静まり、このまま穏やかな新年を迎えられ ますようにと祈るような毎日です。 こうした状況を受け全国規模の会議や

要望など対面での活動が再開され、東京へ出かけ る機会も増えました。新幹線の利用客数も徐々に 戻ってきているようですが、東京駅には外国人の 姿はまばらで、インバウンド需要は厳しい状況が 続きそうです。国内では感染予防に努めたうえで 経済活動を活発化させる動きが出てきていますの で、改めて市内はじめ伊豆半島全体で魅力のブラ ッシュアップを図り飲食・宿泊など、国内の観光 需要を喚起して「ピンチをチャンスに変える!」 契機としたいと思います。また、グローバル化の 進展とともに国内産業の空洞化が思った以上に進 んでいたことも露呈しました。産業構造を見直し IT など新規産業だけでなく既存の農・商・工業にも 光を当て、地方でも魅力ある仕事を創出すること が急務です。市内ではこれからの働き方に合わせ た新しい事業所が誕生する等、民間からも積極的 な取り組みが始まっています。『人もまちも産業ま でも』元気で希望あふれる三島に向かって、官民 一体となって進んでまいります。

三島市長 豊岡 武士

豊岡たけし後援会だより 12号

年末の交通安全県民運動 12月15日~31日

このところ三島市内では交通死亡事故が続くなど、心配な状況が 見受けられます。車の運転時に十分な注意を払うことはもちろん ですが、歩行者の皆さんも手を上げ顔を向けるだけで安全に横断 できる確率が高まります。静岡県警では、自らの安全を守るため の行動として、次の「しずおか・安全横断3つの柱」を呼び掛け ています。

- 1の柱 「手を上げる、差し出す、運転者に顔を向けるなどして 横断する意思表示をしよう」
- 2の柱 「安全確認をしてから横断しよう」
- 3の柱 「横断中も安全確認をしよう」

△横断時に手を上げれば、約9割の車は止まります!

〜文化庁アートキャラバン事業 「JAPAN LIVE YELL project」 〜 市制 80 周年・文化会館開館 30 周年記念

♪♪ 三島せせらぎ音楽祭 ♪♪

日本のクラシック界を代表する一流の音楽家 14 人と音楽を愛する 市民・団体の皆でつくりあげる音楽祭。街中を流れる「せせらぎ」 のように上質なクラシック音楽をお届けします。

【せせらぎコンサート】令和4年1月16日(日) 市民文化会館 第1部 ふれあいコンサート/第2部 ザ・クラシックステージ 【吹奏楽クリニック】令和3年12月11日(土)、16日(木) 下野竜也氏(指揮者)、高橋敦氏(トランペット)による指導

- ・山田中学校吹奏楽部、三島市民吹奏楽団 他 【訪問コンサート】令和4年1月14日(金)、15日(土)
- ・市内小学校、市内病院施設、イトーヨーカドー (予定)

三島市長

〒411-0035 三島市大宮町 2-14-20

豊岡たけし後援会事務所 TEL 055-976-2160 FAX 055-976-2159 Famoil: toyotaka@mail.wbs.no.in

E-mail:toyotake@mail.wbs.ne.jp

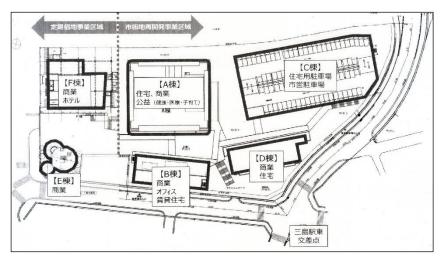
ホームページ http://www.toyooka-takeshi.jp/

三島駅南口東街区再開発事業の進捗状況 (2021年10月29日公開)

三島駅南口再開発事業は昭和62年から検討が進められ、地下水等の大規模な環境影響調査や事業化に向けた取り組みが行われてきました。平成23年の東日本大震災の影響を受けて一時停滞したものの、まちづくりの方向性やビジョンを示す「三島駅周辺グランドデザイン」に基づき、関係者・市民一丸となって着実に取り組みを進め、平成29年度に公募による事業協力者選定を経てミサワホーム株式会社を代表企業とするアスマチ三島プロジェクト共同企業体、三島駅南口東街区市街地再開発準備組合、三島市の三者が協定を締結して、具体的な再開発事業が動き出しました。

事業の節目には市民説明会などを開催し事業の進捗状況を示すとともに市民の皆様からいただいたご意見も踏まえ事業関係者との協議を重ね、令和2年11月に、まちづくりのルールや事業の規模などを定める「都市計画決定・変更」を行いました。現在は、準備組合において基本設計や資金計画作成など必要となる業務が進められてきました。今後の手続きとして、「組合設立認可・事業計画認可」を予定していますが、引き続き、事業関係者による協議・検討を行い、計画の精度を高めるとともに、市民の皆様には説明資料の公開や意見聴取を積極的に行い、喜ばれる事業となるよう進めてまいります。これまでに協議・検討された事業計画を踏まえ、令和3年10月時点の再開発事業の状況をお知らせします。

【施設計画案 配置図】※今後の協議によって変更する可能性があります 三島駅南口東街区再開発区域は、三島市がミサワホームに土地を貸し付け る「定期借地事業区域」(駅前広場に隣接)と東側の都市再開発法に基づく 「市街地再開発事業区域」に分けられます。



【施設計画案の主なポイント】

① ポストコロナを見据えた導入機能の検討

オフィス機能の導入

- ・コワーキングスペースやシェアオフィス需要の増加
- ・B 棟にオフィス機能を導入。ニューノーマルな働き方へ対応 賃貸住宅の導入
 - ・リモートワークが普及したことによる、お試し居住やワーケーション (Work+Vacation) 需要の増加
 - ・B棟に賃貸住宅を導入。移住・定住のきっかけづくりに

市街地再開発事業区域におけるホテル導入の見送り

・施設ボリュームの調整、三島駅との距離感や利便性を考慮し、 ホテル機能の駅前(定期借地事業区域)への移設を検討

駐車場台数の増加

- ・三島駅利用者の利便性を維持しつつ、オフィスや賃貸住宅の導入 機能へ対応するため、市が取得予定の駐車台数を増加
- ② 配棟計画の見直し

施設配置の合理化(施設配置の変更、施設ボリュームの軽減)

- ・溶岩層の分布状況も踏まえ、より安全側に建物位置を配置する
- ・施設ボリュームを軽減。溶岩掘削を抑え地下水に一層配慮する タワー棟(A棟)に1層追加
 - ・マシンルームレスエレベーターを採用し、屋上の機械室が不要
 - ・建物高さを維持しつつ住宅を1層追加。施設ボリュームを調整
- ③ 定期借地事業区域におけるにぎわい創出の検討

ポストコロナを踏まえた導入機能の見直し

- ・再開発区域からホテル機能を移設。にぎわい創出機能の充実
- ・三島駅南口広場に接続する立地を生かした商業施設の導入や、 訪れた人々が滞留、活動することのできる広場スペース維持
- ・駅前広場から圧迫感を感じることがないよう、タワー棟まで 段階的な高さとするほか、段上テラスを採用し、景観や周辺 建物との調和に配慮
- ※公表した計画案は、今後の検討により、都市計画決定の範囲内に おいて変更となる可能性があります
- ※この他、施設計画案平面や事業費、地盤・地下水等の調査について 公表しています。詳しくは、三島市ホームページをご覧ください